

同志社大学一神教学際研究センター

日本オリエント学会 共催

公開講演会

## 前3千年紀シュメール、多神教の世界

● 講 師 ●  
ま え だ と お る  
前 田 徹

(早稲田大学文学部教授、日本オリエント学会理事)

● 日 時 ●

1月12日(土) 午後2時～4時

● 場 所 ●

同志社大学 今出川校地 神学館礼拝堂

○入場無料・事前申込不要

○問い合わせ

同志社大学一神教学際研究センター (CISMOR)

TEL. 075-251-3972 E-mail: info@cismor.jp HP: <http://www.cismor.jp/>

## ～プログラム～

1) 講演 前田 徹 (早稲田大学文学部教授)

「前3千年紀シュメール、多神教の世界」

2) 質疑応答 司会 越後屋 朗 (同志社大学神学部教授)

## ～要 旨～

古代メソポタミア文明の基礎を築いたシュメール人は、最高神エンリルなどの七大神や、おのおのの都市における主神など、多くの神々を崇拝していた。多神教の社会において、シュメール人が神をどのように理解していたかを示すために、神に関わる宇宙観、神殿、神像、神統譜などについて述べたい。

## ～講 師 紹 介～

■ 前田 徹 (まえだ とおる)

### 【略歴】

北海道大学大学院文学研究科博士課程中退、広島大学助手を経て、現在、早稲田大学文学部教授。日本オリエント学会理事。

### 【著書】

『都市国家の誕生』(世界史リブレット) 山川出版社 1995年、『メソポタミアの王・神・世界観—シュメール人の王権観』山川出版社 2003年、(共著)『歴史学の現在：古代オリエント』山川出版社 2000年、(分担執筆)日本オリエント学会編『古代オリエント事典』岩波書店 2004年